

平成26年度岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会 議事要旨

- 1 日時 平成26年10月23日(木) 午前10時～11時30分
- 2 場所 岐阜県庁6南4会議室
- 3 出席者

	団体名	氏名	
委員	岐阜県医療審議会	会長	岩田 弘敏
	岐阜県立看護大学	学長	黒江 ゆり子
	岐阜薬科大学	学長	勝野 眞吾
	岐阜県医師会	常務理事	堀部 廉
	岐阜県病院協会	会長代理	佐々木 旭
	岐阜県看護協会	会長	石山 光枝
	岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	河合 正明
	岐阜ホスピスケアをすすめる会	代表	高木 和子
	あけぼの岐阜	代表	橋渡 智美
事務局	保健医療課	課長	有賀 玲子
		保健企画監	山田 美奈子
		係長	新谷 由加里
		技術主査	丹羽 由香里
		主任	藤田 真紀

4 議事要旨

○議事1 がん診療連携拠点病院について

事務局より説明

○議事(2) がん診療連携拠点病院の指定について

- ・ 県拠点と地域拠点の連携の状況についてどうなっているか。
事務局説明⇒がん診療連携拠点病院協議会があり、ここに7の部会を設置している。具体の課題については部会で協議し、協議会に報告して全病院で共有している。
- ・ **岐阜大学医学部附属病院を県拠点として、その他6病院を地域拠点として岐阜県として厚生労働省に推薦することを全員賛同のもと決定**

議事（3）がん診療連携拠点病院の機能に期待すること

- ・がん診療連携拠点病院においては、緩和ケアセンターのジェネラルマネージャーにがん看護専門看護師を置く等、専門性の高い看護師が期待されている。今後も専門性の高い看護師を育成することで貢献していきたい。
- ・がん診療連携拠点病院には、所属する専門性看護師や認定看護師がその資格を継続するための活動ができるような体制を整備していただきたい。
- ・がんの在宅においては、薬剤管理等の面で薬剤師を欠くことができない。今後どのように養成、役割を果たしていくか取組んでいくことが必要。
- ・患者の紹介元の医療機関へ患者をできるかぎり戻し、かかりつけ医でケアしていけるようにして欲しい。
- ・かかりつけ医に対しがん教育をして欲しい。
- ・県境にあり、他県からのがん患者を受け入れている病院に対し、そのような点を評価するような条件も加味していただき、指定要件を緩和して欲しい。
- ・僻地病院は医師がいなくて大変なので、国保直診診療所等と連携を図って欲しい。
- ・ホームドクターを持つよう患者へ伝えてほしい。
- ・がんサロンの相談員の質の向上を望む。

議事（4）その他

- ・当該議会委員に歯科医師をいれてはどうか。
- ・専門性の高い人材が、他県に流れず、岐阜県で活躍する仕組みづくりが必要。